

# コミュニケーション用具の種類と使用目的の紹介

コミュニケーション支援にあたって『どのような場面で、どのような内容を伝えたいのか』という本人や支援者等のニーズ、抱えている問題を確認した上で必要なコミュニケーション用具やスイッチなどを身体機能に応じて導入していきます。

## 筆談

- ・文字を書いて意思を伝えます。
- ・指や足で机やベッド上に文字を書く空書やコミュニケーションボードにペンや指で文字を書いて相手に伝える方法があります。



ホワイトボード



磁気式メモボード



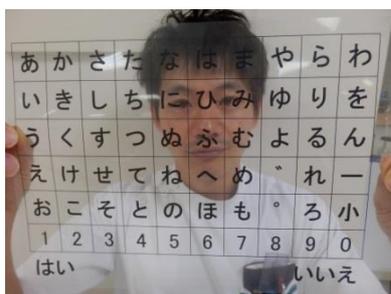
電子メモパッド

## 指文字盤



- ・50音表を指したり、介助者が指した文字をうなずきなどで確認しながら意思疎通を行う用具です。
- ・場所を選ばずに使用ができ、持ち運びができます。
- ・足や口でくわえた棒などで文字を指す方法もあります。
- ・よく使う単語や絵を盤にして使用することもあります。

## 透明文字盤



- 筆談や指文字盤が難しくなると視線(眼球運動)を使った透明文字盤が役に立ちます。
- 患者さんと介護者が文字盤を挟んで向かい合います。伝えたい文字に視線を向けてもらい読み手は自分の視線と一直線になる様に文字盤を動かし読み取ります。
- よく使う単語や絵を盤にして使用することもあります。
- お互いの慣れが必要なので早めの練習が必要です。

## トーキングエイド

- 発話による会話が困難な場合に文字キーを押すことで文章を作成、音声読み上げをします。『声の出る文字盤』といえる用具です。
- 筆談や文字盤は介助者(読み手)が必要ですが、この機器は一人で話すことができます。



トーキングエイド For iPad



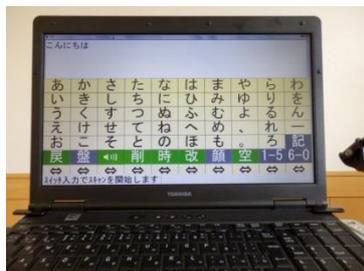
ボイスキャリーペチャラ

## レッツチャット



- 会話や筆談をすることが難しい場合、身体のわずかな動きでスイッチを操作し意思を伝えることができます。
- 入力スイッチひとつで文章の作成と読み上げ、呼び出しブザー、テレビリモコン機能があります。
- 単純な操作なので機械が苦手な患者さんへの導入も容易であり、持ち運び易く外出先でも使用できます。

## 伝の心 (PC とソフトが一体化しており PC の機種が限られる)



- ・会話や筆談をすることが難しい場合、身体のおわずかな動きでスイッチを操作し意思を伝えることができます。
- ・文章作成、読み上げ、メール、簡単なインターネット、テレビやビデオの操作などの機能があります
- ・シンプルな画面表示のため大きく文字が見やすいです。
- ・文章作成が困難な場合、あらかじめ作成した日常的に使う文章を選択する『日常使用文』という機能を使用することで簡単に早く意思を伝えることができます。

## オペレートナビ (支援ソフトウェアで自分の PC にインストールして使用します)



- ・上肢障害のある方が PC の Windows や各種アプリケーションを操作するためのソフトウェアです。
- ・意思伝達機能以外にも PC のインターネットやブラウザ、ワードやエクセル等の操作が可能です。
- ・PC の機能を十分に活用したい方が使用することが多いです。
- ・使用するには PC の知識が必要です

## マイトビー (視線入力意思伝達装置)



- ・マウスの代わりに視線で操作できる意思伝達装置です。
- ・画面上の文字などを見るだけで文字入力等ができ、またインターネット、メール、音楽再生、ゲーム等が行えます。